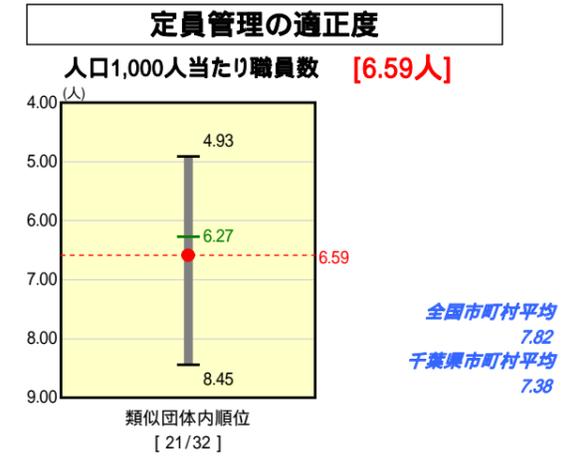
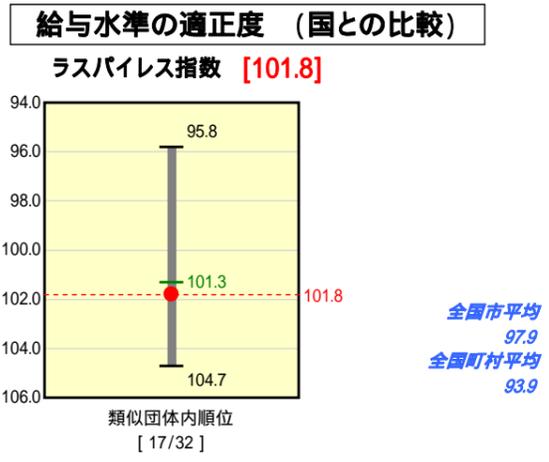
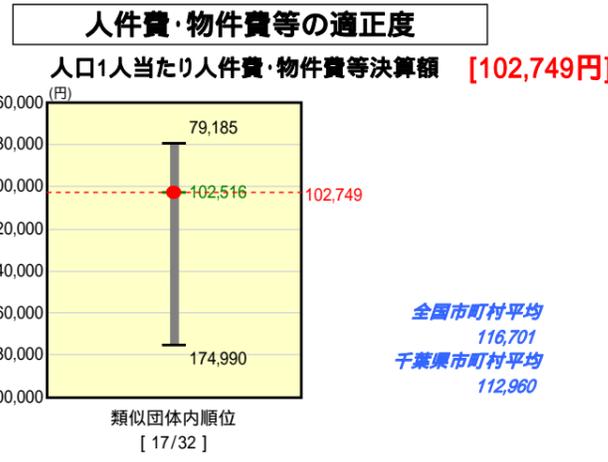
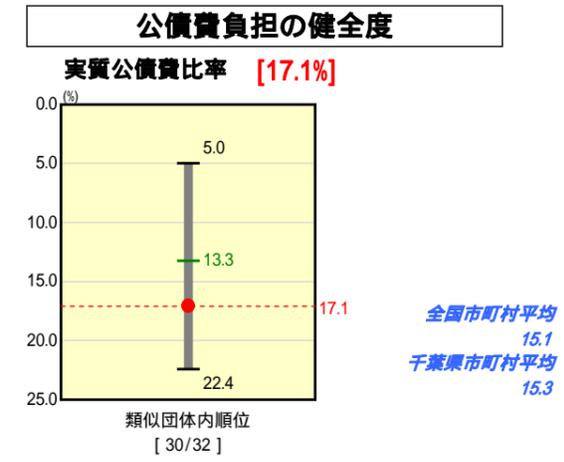
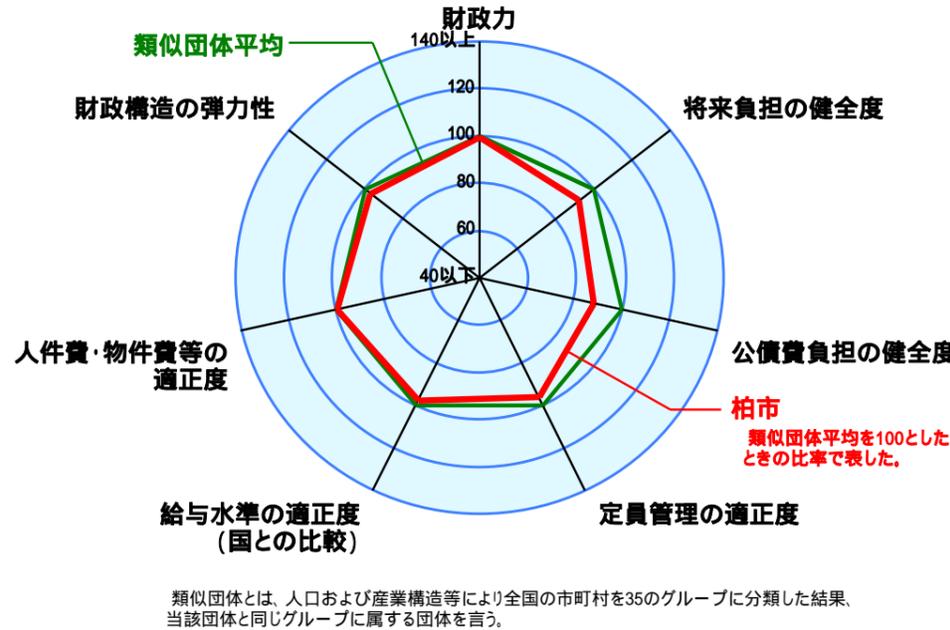
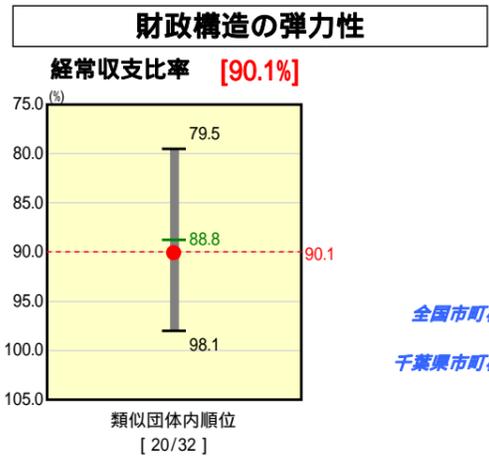
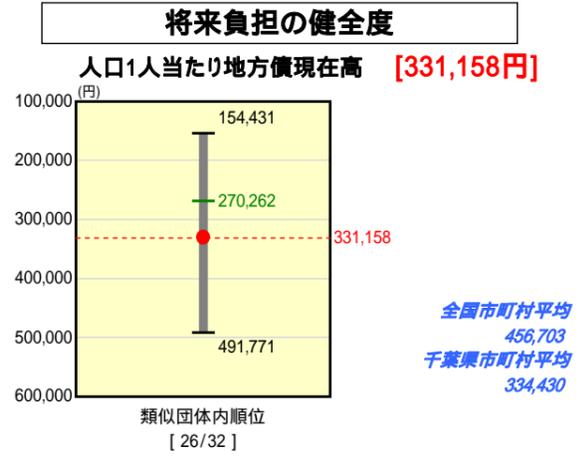
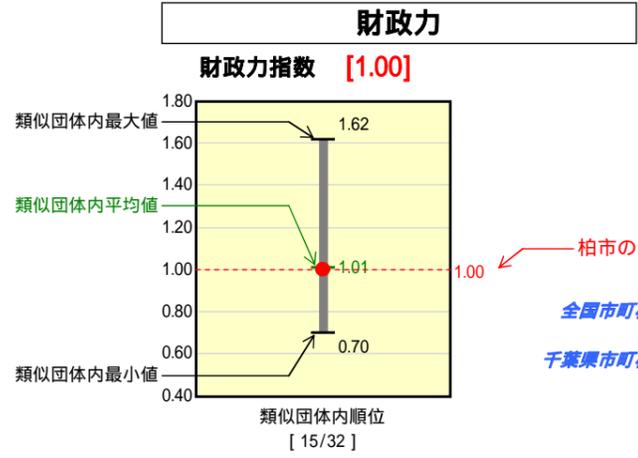


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

千葉県 柏市

人口	381,999人	(H19.3.31現在)
面積	114.90	km ²
歳入総額	97,383,006	千円
歳出総額	93,355,594	千円
実質収支	3,814,825	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数: 平成17年度0.968, 平成18年度0.995, 平成19年度1.022となり年々上昇している。今後も歳出の効率化, 歳入確保に努めることで財政基盤の強化を図る。

経常収支比率: 平成17年度決算に比べ人件費及び物件費の経常収支比率を改善し, 全体では0.3%改善した。依然として人件費及び公債費の占める割合が高いため, 給与水準の適正化, 職員定数削減等による人件費の抑制や, プライマリーバランスの黒字確保により公債費の削減に努める。扶助費についても, 市単独事業や国・県の水準を上回っている事業について当該水準の妥当性を勘考のうえ適正化を図る。平成21年度決算において経常収支比率を90%以内に抑制することを目標とする。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額: 類似団体平均とほぼ同水準の結果となっているが, 引続き定員適正化計画に従い職員数の削減を図り, 給与水準の適正化による総人件費の抑制に努める。また, 指定管理者制度や長期責任委託, 長期継続契約を活用し, 施設管理コストの抑制に努める。

ラスパイレス指数: 平成19年4月に給与水準の適正化及び職務職責に応じた給与体系への転換を図るため給与体系改革を実施したが, 国より1年遅れて実施したため国家公務員や類似団体を若干上回る水準となっている。今後においても, 近年実施してきている定員適正化及び諸手当の見直しを継続し, 給与の総額及び水準の適正化に努める。

人口1人当たり地方債現在高: 平成17年度の342,501円から11,343円下回り, 全国市町村平均を125,545円, 千葉県市町村平均を32,722円下回っているが, 類似団体平均を60,896円上回っている。今後, 地方債の新規借入れを当該年度の元金償還額以内として地方債残高を抑制する取組みにより, 類似団体平均を下回ることを目標とする。

実質公債費比率: 都市基盤整備の財源として活用した地方債の元利償還金の増加により, 類似団体平均を上回っている状況にある。地方債の新規借入れを当該年度の元金償還額以内として地方債残高を抑制する取組みにより, 実質公債費比率を平成21年度決算において17%以内の水準とする。

人口1,000人当たり職員数: これまで, 新規採用の抑制, 事務の統廃合縮小, 業務委託等の民間活力の活用等により, 定員の適正化に努めてきた。平成17年4月1日から平成22年4月1日までの間に, 地方行革新指針(総務省)に掲げられている5.7%を上回る9.5%(269人)の削減を定員管理の目標とし達成を目指す。